

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	リアルタイムで効果的な情報発信による観光誘客数の増加に向けた取組み
事業主体 (連絡先)	池田町観光推進本部 (事務局 片瀬 登 TEL0261-62-9197)
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,340,360 円 (うち支援金 755,000 円)

事業内容

信州や安曇野を旅行の目的に、松本・安曇野ICを利用するマイカー旅行者及び近隣の宿泊施設・大規模観光施設等を利用する旅行者を対象に、立ち寄り・寄り道場所として、来訪したくなるようなリアルタイムな情報を全年代が利用できる紙媒体にて発信して当町への誘客数の増加を図った。



【リーフレット掲出風景】
梓川サービスエリアにて

【目標・ねらい】

①現に当地域を訪れている旅行者に当町へ来訪してもらうためのリアルタイムで効果的な情報発信を行い、誘客数前年比3%増加を目標とした。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

北アルプス山麓地域へ訪れる旅行者をターゲットにモバイル端末利用者でなくても容易にリアルタイムな情報を得ることができるリーフレット形式で池田町単独の情報発信により、観光誘客数の増加を図ることができた。

また、本年度の傾向として、近隣宿泊施設から入手したリーフレットによる観光客の誘客数が増加した。

平成29年観光誘客数 延べ401,500人

※自己評価【B】

【理由】
天候不順で誘客数の減少した秋の紅葉シーズンを除き、誘客効果があった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来訪数増加と知名度の向上を目指し、来年度以降、3ヶ月先程度の情報量を掲載する季刊誌発行を行い、掲出の効果が顕著であった近隣大型観光施設(黒部アルペンルート・大王わさび農場・ちひろ美術館)及び白馬～松本地域の宿泊施設への配布を行う。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある